

令和3年度 推薦入試

筑波大学人間学群 心理学類

「小論文」問題

試験実施日 令和3年11月26日

実施時間 10:00~12:00

[解答上の注意]

1. 指示があるまで問題冊子を開かないでください。問題冊子1部、答案用紙3枚、下書き用紙3枚が配付されていることを確認してください。
2. 「小論文」の問題は問1から問3まであります。解答には指定された答案用紙をそれぞれ使用してください。
3. 下書き用紙に記入された内容は採点の対象にはなりません。解答する際に十分注意してください。
4. 「始め」の合図があったら、3枚の答案用紙の所定の欄に、氏名と受験番号を忘れずに記入してください。問題冊子は表紙を含めて4ページまであります。
5. 不明の点があった時や気分が悪くなった時は、手を挙げて知らせてください。

[答案用紙回収上の注意]

1. 「終了」の合図があったら、ただちに筆記用具を置いてください。監督員の指示に従わない場合は不正行為とみなします。
2. 3枚の答案用紙を、問題番号順に重ねてください。重ねたまま回収します。
3. 問題冊子と下書き用紙は回収しません。各自持ち帰ってください。

令和3年度推薦入試 筑波大学人間学群心理学類 「小論文」問題

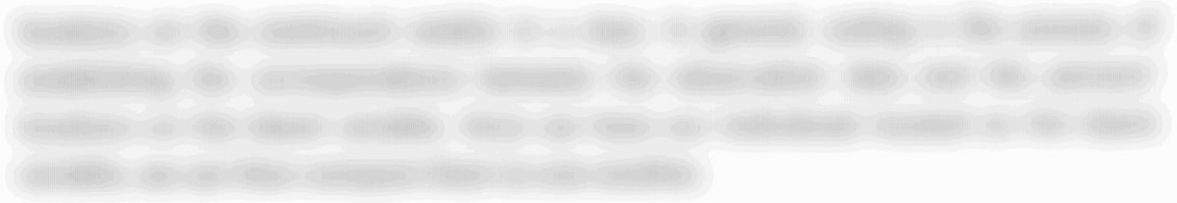
以下の英文を読んで、次の問1から問3に日本語で答えなさい。なお、マス目のある解答欄に英数字を書く場合には、1マスに2文字を記入すること。

- 問1 下線部①を日本語に訳しなさい。
- 問2 本文中で示されている例を用いて、下線部②が意味することを、150字以内で具体的に説明しなさい。
- 問3 下線部③に関連して、人間の「幸せ」の測り方を2つ考えなさい。そして、それらの測り方について、なぜそれらの方法で「幸せ」が測れるかを説明しつつ、600字以内で説明しなさい。

[Blurred text block]

[Blurred text block]

[Blurred text block]



(出典)

de Ayala, R. J. (2009) The theory and practice of item response theory. New York: The Gilford Press, pp.1-2 から抜粋・改変